

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ

和歌山ろうさい病院
副院長 小川 幸志

春暖の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

元旦に発生した能登半島地震は衝撃的でした。阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震に引き続き次々と起こる地震を目の前に、わが国はこの災害から逃れられない運命であることを改めて痛感させられました。全国から救援の輪が広がる中、和歌山ろうさい病院からものべ3回のDMAT（災害派遣医療チーム）派遣を行いました。また現地の公立病院では多くの病院スタッフが被災し、避難所や自家用車で寝泊まりし通勤している方もいるような状態で看護職員の疲弊は大変なものだった様です。厚労省の要請を受け、災害応援として当院の病棟看護師が現地の病院に支援参加を行いました。

地震から逃れられない宿命ならば、後は備えるしかありません。災害拠点病院として当院は近い将来発生すると予想される南海トラフ巨大地震に備え着々と準備を行ってきました。平成30年9月の台風21号は近畿地方に大きな被害をもたらし、和歌山市では広範囲な停電が生じました。この停電で当院の停電時自家発電能力が十分ではないことが判明し、その反省から令和4年に竣工した災害対応棟には自家発電装置を追加し、発電能力は倍増し停電時でも十分な病院機能を発揮できる様になりました。

さらに令和3年の六十谷水管橋破損による長期間の断水の経験から、地下水汲み上げ浄化センター（防災井戸）の整備を行ったところです。今回の能登半島地震でもインフラで復旧が最も遅れているのが水道システムであり、給水車で飲料水は確保できても洗濯やお風呂などの生活用水が不足している状況であることから病院自前での水の確保は重要です。

過去の停電や断水事故を教訓にして災害に強い病院を目指し整備を進めていますが、備えにこれで十分という終点は無く不断の見直しが必要です。今後も平時はもとより災害時にも地域の皆様や連携医療機関の先生方に頼りにされる病院を目指し努力して参ります。

今後ともご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本 93 番 1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用 FAX)

E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp URL.https://www.wakayamah.johas.go.jp/

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

脳神経外科の紹介

和歌山ろうさい病院脳神経外科では脳卒中などの脳血管障害、頭部外傷や脳腫瘍等、手術を必要とする脳疾患を中心に、24時間体制で診療を行っています。年間入院患者数は500－600例、手術件数は約200件です。脳神経外科診療に関するトピックスをいくつかご紹介します。

脳卒中診療の進歩と脳卒中センターコア施設

急激に発症する脳血管障害（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など）を脳卒中と呼びます。

近年は脳梗塞に対する治療が大きく進歩し、急性期（最大24時間まで）の脳血管内治療の効果が証明され、重症脳梗塞から回復する患者さんも多くなりました。当科では、救急隊から脳神経外科医への脳卒中ホットラインや救急医・コメディカルとの連携により、脳卒中を迅速に診断・治療できる体制を整えています。

県内2つの脳卒中センターコア施設の1つに認定され、治療だけでなく脳卒中全般に対する相談窓口を開設し、脳卒中に関する地域診療の中心となるよう取り組みを続けています。

脳血管内治療

脳血管内治療はカテーテルによる脳疾患の治療で、現代の脳神経外科診療に欠くことのできない大きな柱となっています。切開を行わずに治療できる利点があり、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術やフローダイバーター留置術、頸動脈狭窄症に対するステント留置術など、多くの疾患で力を発揮しています。当院は2006年から脳血管内治療センターを併設、全国に先駆けて脳血管内治療を実施してきました。年間では100例あまりの脳血管内手術を実施し、日本脳神経血管内治療学会の認定する研修指定病院として、若手専門医の育成にも努めています。

脳ドック

「いまのところ健康だけど将来の脳疾患が心配」。予防医学が浸透し、そのように考える人も多くなっています。当院健康診断センターでは最新のMRI装置を使用して、脳ドックを実施しています。放射線読影認定医・脳神経外科医が画像診断を行い、なんらかの異常が見つかった受診者には、脳神経外科医が面談して結果をお伝えするようにしています。

以上、脳神経外科のトピックスや我々の取り組みのいくつかをご紹介いたしました。和歌山ろうさい病院脳神経外科は偉大な先達が創設し、地域への貢献だけでなく医学の進歩にも寄与してきた伝統ある診療科です。

地域の皆様、心ある病院のスタッフに支えられ、今後も使命を全うして参ります。和歌山ろうさい病院脳神経外科をこれからもよろしくお願いいたします。



手術室の紹介

手術室 内海 牧子

中央手術部は、麻酔科医師6名、感染管理認定看護師を含む看護師20名、手術室6室で年間約4,200件の手術を実施しています。対象科は外科、脳神経外科、皮膚科、呼吸器・乳腺外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科の9診療科です。また、中央材料室は、業務委託をしており、器械の洗浄、組み立て、滅菌業務、各部屋の清掃を行い円滑に安全な手術の提供ができるよう取り組んでいます。

がん診療の高度化、環境を取り巻く変化は大きく、併存疾患を持つ患者や重複癌、化学療法後の手術など様々な心身の状況で手術を受ける方が増加しています。手術室看護師は、周術期（術前、術中、術後）を通して、患者や家族にケア、支援を行います。患者や家族が安心して手術を受けることができるように、術前訪問では不安に寄り添いながら情報収集やアセスメントを行い、安全・安楽に手術が受けられるようにアプローチしています。また、翌日の手術の予定に対し中央材料室と打ち合わせを行い、器械や衛生材料、部屋の準備状況を確認しています。手術当日には術前訪問の情報をもとに、器械出し看護師、外回り看護師、外科医、麻酔科医、その他コメディカルなどそれぞれの専門性を発揮し多職種によるチーム医療を提供しています。

例えば、外回り看護師は医師と十分なコミュニケーションをはかり手術操作や麻酔管理に最適な体位を考慮しながら、長時間の同一体位による神経や皮膚トラブルを予防できるように調整しています。整形外科病棟へ異動となった手術看護認定看護師は活動日に術中看護の振り返りを行っています。術後訪問ではその認定看護師と連携しながら情報共有を行い周術期看護の質の向上に努めています。

コロナ禍では感染管理認定看護師を中心に、患者、スタッフが安全に手術を受けられるようマニュアルの整備を行いました。現在も外来、病棟と連携をとりながら感染の拡大をおこすことなく安全に患者を受け入れることができます。また、術後の創部感染予防を目的に医師や薬剤師と抗生剤の投与方法や消毒剤の検討なども行っています。

今後も感染予防・事故防止・褥瘡対策など、安全で質の高い医療を提供できるよう、多職種と連携しチームで手術のサポートを行っていきます。

最後に手術に関してご質問やお困りのことがございましたら、遠慮なくお申し付けください。



令和6年4月新任医師紹介



よしむら こうへい
吉村 康平 先生

産婦人科医師

一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



でぐち りゅうすけ
出口 龍良 先生

泌尿器科医師

大学病院で、臨床・研究に従事してきました。和歌山労災病院の発展、地域医療の充実に貢献できるよう努めて参ります。



ふるたに あみ
風呂谷 亜美 先生

皮膚科医師

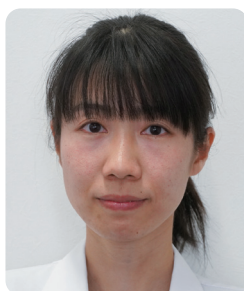
数年ぶりにまた働かせていただくことになりました。よろしくお願いします。



よしむら ともひろ
吉村 知紘 先生

外科医師

令和6年4月より外科に着任しました吉村知紘と申します。皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いします。



こしろ まゆ
小代 麻由 先生

脳神経内科医師

地域の医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。



おおにし のりゆき
大西 紀幸 先生

消化器内科医師

至らない点もあると思いますが、患者様に寄り添った診療を心がけて頑張ります。



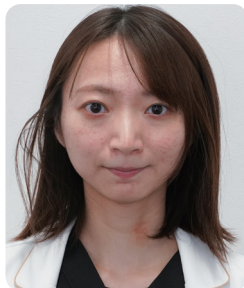
令和6年4月新任医師紹介



つばた ゆうすけ
坪田 悠佑 先生

消化器内科医師

消化器内科医としてお世話になります、坪田です。日々精進していきます。よろしくお願いいたします。



たまい くるみ 先生
玉井 くるみ 先生

放射線科医師

放射線科で勤務させていただきます、玉井くるみです。地域に貢献できるよう精一杯努めますので、よろしくお願いいたします。

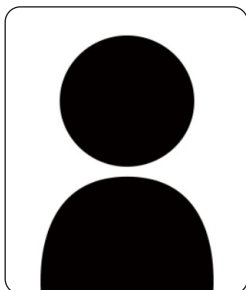


みむら あやみ 先生
味村 彩美 先生

内科医師

4月より内科で勤務させて頂く味村彩美です。地域の医療に貢献できるよう尽力したいと考えているので、何卒よろしくお願いいたします。

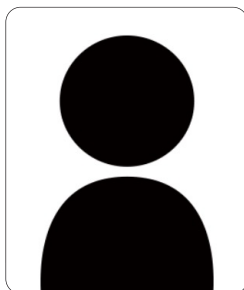
令和6年4月新任臨床研修医紹介



うみべ たかあき
海邊 卓明 先生

臨床研修医

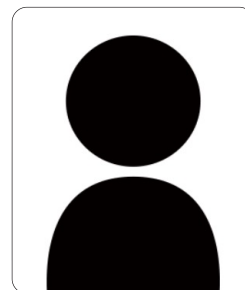
4月から研修させていただく海邊と申します。患者さんの力になれるよう日々誠実に努力していきます。よろしくお願いいたします。



すずき みく 先生
鈴木 美紅 先生

臨床研修医

4月から研修させていただく鈴木美紅と申します。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



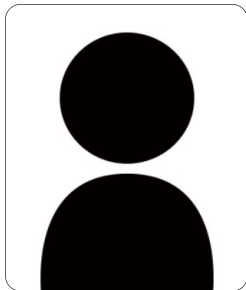
ふるかわ きょうこ 先生
古川 響子 先生

臨床研修医

4月より研修させていただく古川響子です。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



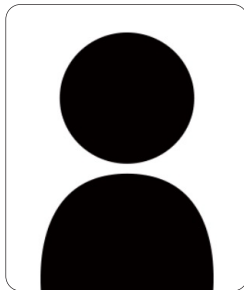
令和6年4月新任臨床研修医紹介



みずたに あかり
水谷 朱里 先生

臨床研修医

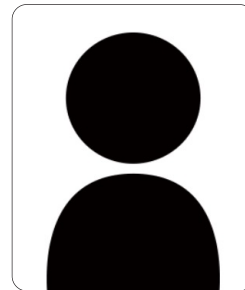
4月から働かせていただきます水谷朱里です。患者様に寄り添えるような医師になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



たら ま ゆ か
太良 真由香 先生

臨床研修医

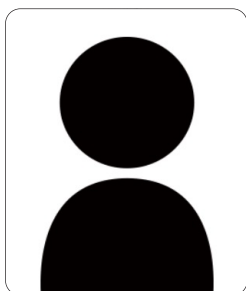
4月から労災病院で働かせて頂きます。まだまだ未熟ですが、患者様、地域の皆様の力になれるよう自分なりに頑張らせていただきますので、よろしくお願いいたします。



みぞぐち かずと
溝口 和杜 先生

臨床研修医

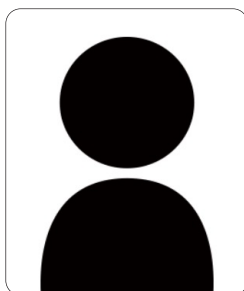
はじめまして。研修医1年目の溝口和杜です。地域の方々に信頼して頂けるよう精一杯頑張りたいと思います。



てらした りょうすけ
寺下 凌輔 先生

臨床研修医

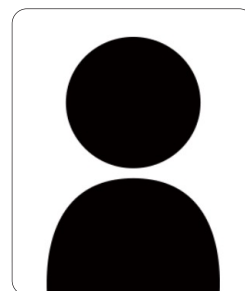
和医大から来ました寺下凌輔です。医師として成長できるように2年間研修頑張ります。よろしくお願いいたします。



たかはし りゅうた
高橋 隆太 先生

臨床研修医

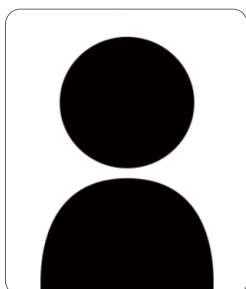
4月から研修させていただきます高橋と申します。患者さんに寄り添い、力になれるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



やだい もえ
矢代 萌 先生

臨床研修医

4月からお世話になります、矢代萌と申します。少しでも患者様の力になれるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



こやま よしき
小山 佳輝 先生

臨床研修医

兵庫医大卒の小山佳輝です。至らない点多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



放射線治療機器の更新について

放射線科 第二部長 千葉 堯弘



2022年4月に和歌山ろうさい病院に、放射線診断専門医2名が着任し、画像診断センターが設置されました。CTやMRIといった画像診断装置も新たな機種に更新されており、画像診断機能が強化されました。放射線治療の分野においては、放射線治療機器の更新が予定されていたこともあり、2022年4月に放射線治療専門医も1名着任しました。昨今の世界情勢などの影響により当初の予定より遅延しましたが、2023年12月に新たな放射線治療機器であるVARIAN社「TrueBeam（トゥルービーム）放射線治療システム」の導入が無事に完了しました。

放射線治療は、手術、薬物療法とともにがん治療の三本柱の一つです。放射線の照射によりがん細胞のDNAに損傷を与え、その死滅を促しながら、がん細胞周囲の正常な臓器を温存することが可能で、体への負担が少ないのが大きな特徴です。近年では治療機器の急速な進化により、従来の装置では治療が困難であった悪性腫瘍にも対応できるようになり、疾患によっては手術に匹敵するほどの治療成績も報告されています。

「TrueBeam放射線治療システム」は、がん組織に対して適量の放射線をピンポイントで照射し、高精度・短時間に治療する装置です。TrueBeamの導入により、当院でも小さながんが多方向から放射線を当てる定位放射線治療（SRT）や、腫瘍の形に合わせて放射線の形や強度を変えて照射する強度変調放射線治療（IMRT）/強度変調回転照射治療（VMAT）など、以前の治療機器では困難であった精度の高い技術が求められる症例にも対応可能となりました。特に強度変調放射線治療はさまざまな悪性疾患において標準照射法になりつつあり、がん治療を担う病院にとって必須の照射法になりつつあります。さらに、当院ではHyperArcも導入しました。HyperArcとは、主に転移性脳腫瘍に対する定位手術的照射を短時間で効率的に行うことができるソリューションです。脳腫瘍の定位照射といえばγ線を用いたγナイフが有名ですが、当院ではX線を用いた脳腫瘍の定位照射が可能となります。転移性脳腫瘍はがん患者の8-10%程度に発生すると報告されており、転移性脳腫瘍に対する放射線治療への需要は伸びていくことが予想されます。

今回の放射線治療機器の更新により、当院でもさまざまな放射線治療が可能となりました。医師、診療放射線技師、看護師と放射線治療に関わる人員は十分とは言えませんが、スタッフ一丸となり、当院での放射線治療を十分かつ安全に提供できるように努めてまいります。

令和6年能登半島地震での 労災DMATの出動と和歌山県DMAT派遣調整活動

救急部・集中治療部 岩崎 安博

本年元旦午後、石川県能登地方で最大震度7の能登半島地震が発生しました。当日、私含め労災病院のDMAT（災害派遣医療チーム）隊員は全員いつでも出動できるように準備し始めました。しかし、大災害の常で、発災直後は被害の全貌がわからず、2日には中部地方と近畿北部のDMATのみが要請されました。しかし、被害の規模が判明してくるにつれて、一般の方々の被害も甚大でしたが、半島の病院全てが停電、断水、職員の疲弊で機能できなくなり、新規の救急患者や救助された方、入院中の患者さんの医療が困難な状況になりました。そこで、半島の多くの患者さんをドクターヘリ、緊急消防援助隊の救急車で金沢市内の病院へ搬送するという支援が必要になりました。そこで和歌山県にも9日午後にDMATの派遣要請が出ました。内容は、当初金沢市内の一時収容施設での医療活動ということで、和歌山県は常時2チームで17日まで支援してほしいとのことでした。そのためには最低4チーム必要で、私は和歌山県のDMAT調整本部の責任者として、まず労災病院のDMATが出動できるよう南條病院長に許可を得、次いで県立医大にDMATの出動をお願いしました。その2チームの出動に続いて公立那賀病院と新宮市立医療センターにDMATの出動をお願いしました。

労災DMATは9日夕方に和歌山を出発し金沢には深夜到着し10日朝から活動を開始しました。しかし現地に入り、我々に求められた主な業務は半島の被災した病院の患者さんや施設入所中の方の転院先や搬送手段を確保し、安全な場所に移送できるように調整する本部活動でした。この活動は石川県庁内のDMAT活動拠点本部内で行いました。また、時にはヘリポートへ向かい自衛隊ヘリコプターによる患者さんの搬送の支援も行いました。半島から金沢市内への道路は、雪と地震によるひび割れで寸断され、陸上搬送は6～8時間を要する状況で、ドクターヘリ、自衛隊ヘリコプター、救急車、民間救急車、介護タクシーとありとあらゆる手段を調整し、安全な病院へ収容してもらえるよう調整する必要がありました。労災はじめ和歌山DMATチームはこの任務を遂行してきました。この任務は結局2月4日まで延長継続を依頼され、計14チームが和歌山県から出動しました。和歌山ろうさい病院は混成チームも含め3チームの出動に貢献しました。私自身は出動するとともに他の和歌山県のDMATが安全に出動できるように県庁医務課と協力し情報収集と調整業務も行いました。今回は能登半島の石川県の方のためと思い出動しましたが、南海トラフ地震では紀伊半島でも同じような状況（道路の寸断、各地が孤立、搬送手段不足）が起こります。その時に今回の経験をいかさねばとも痛感しております。

まだまだ今後も石川県への医療支援は必要だと思います、石川県の方のために行動することは将来和歌山県での災害の時に全国から支援に来ていただくためにも行う必要なことだと感じました。



「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

松谷内科

診療科目 内科、糖尿病内科、消化器内科

住 所 〒640-8471 和歌山県和歌山市善明寺755-81

電 話 073-451-1700



院長 まつたに 松谷 のりひこ 紀彦 先生



松谷内科は元々、お父様の松谷秀俊先生が1985年に善明寺にて開院されたクリニックであり、ご子息の紀彦先生は2020年に副院長に就任、2023年7月から秀俊先生から引き継ぎ院長になりました。

紀彦先生は糖尿病の治療を行うことで症状が安定し病気の予防にも繋がることに魅力を感じ糖尿病内科を専門とされました。診察では患者様との会話を大事にされています。説明の際も「なぜ、どのようにして」を基本に病気との向き合い方や治療方法等を分かりやすく理解してもらえよう心掛けておられ、多くの患者様との信頼関係を築き地域医療への貢献に日々尽力されております。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

松谷内科 診療時間		月	火	水	木	金	土	日
	午前 (8時45分～12時)	○	○	○	○	○	○	休
	午後 (13時30分～15時30分)	○	○	○	休	○	休	休
	午後 (16時～18時30分)	○	○	○	休	○	休	休

※休診日：木曜・土曜午後・日祝

和歌山ろうさい病院（外来診療科担当医一覧表）

令和6年4月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中尾 隆太郎	若崎 久生	中 啓吾	—
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	味村 彩美	三長 敬昌	丸山 杏奈	
		⑦番	大伴 裕美子（午前） （腎臓内科）	南條 輝志男 【第2週休診】	—	—	北 浩光 （腎臓内科）	
		⑪番	—	—	リウマチ・膠原病内科診 第1・3・5週 岩田 聡 第2・4週 西川 太朗	—	—	
脳神経内科	A	⑪番	榎皮谷 泰寛	（午前）小代 麻由 （午後）榎谷 潤子	休診	榎皮谷 泰寛 （午前）小代 麻由	榎皮谷 泰寛	—
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	休診	休診	—
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	細 隆信	庄野 剛史	細 隆信	当番医	—
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	—	—
消化器内科	B	⑪番	当番医	江守 智哉	深津 和弘	江守 智哉	内視鏡センター診 深津 和弘	—
		⑫番	与田 武徳	森 加奈子	大西 紀幸	垣本 哲宏	坪田 悠佑	
		⑬番	—	当番医	—	当番医	当番医	
肝臓内科	B	⑬番	玉井 秀幸	岡村 順平	玉井 秀幸	玉井 秀幸	玉井 秀幸	—
循環器内科	A	⑤番	小川 真未	小向 賢一	林 泰	林 泰	山本 康徳	火・木
		⑨番	西大條 俊幹	—	山本 康徳	—	小向 賢一	
		⑩番	上田 美奈	当番医	田中 侑	小森 有紀	上田 美奈	
小児科	C	⑩番	西川 香瑠	当番医	西川 香瑠	田中 侑	小森 有紀	—
		特診⑨	小森 有紀	上田【予防接種】	田中 侑	上田 美奈	【第1週目】神経・発達 前田 真範 【第4週目】神経・発達 篠崎 浩平	
		特診⑩	田中 侑	—	西川 香瑠	小森 有紀	心臓外来 土橋 智弥	
		⑦番	山本 基	岩橋 誠	宮澤 基樹	岩橋 誠	山本 基	
外科	B	⑧番	桐山 茂久	福田 直城	桐山 茂久	福田 直城	宮澤 基樹	月・火・水・木・金
		⑨番	—	古村 知紘	—	—	—	
		⑩番	—	—	—	ストーマ外来（予約制）	—	
		③番	中谷 如希	背椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	
整形外科	B	④番	峠 康	岩田 勝栄	籠谷 良平	スポーツ整形診 麻殖生 和博	野中 研人	月・火・水・木・金
		⑤番	当番医【紹介新患診】	籠谷 良平	平 一裕	大西 麻紀子	平 一裕	
		⑥番	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
		⑥番	【紹介新患診】	【紹介新患診】	【紹介新患診】	【紹介新患診】	【紹介新患診】	
		⑨番	野中 研人	—	—	—	—	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 岡田 秀雄	林 宣秀	岡田 秀雄	当番医	林 宣秀	火・木
		⑬番	金高 由佳	川口 匠	金高 由佳	—	川口 匠	
		⑭番	当番医	小山 佳輝	当番医	—	小山 佳輝	
		救急待機	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	③番	玉置 剛司 （乳腺外来）	内藤 古真 （乳腺外来）	内藤 古真 （乳腺外来）	内藤 古真 （乳腺外来）	内藤 古真 （乳腺外来）	月
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	風呂谷 亜美	下松 達哉	火
		②番	平田 一希	—	風呂谷 亜美	平田 一希	【第1・3・5週】風呂谷 【第2・4週】平田	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	出口 龍良	休診	鈴木 淳史	当番医	水・金
		②番	出口 龍良	丸山 容平	—	丸山 容平	—	
産婦人科	D	⑩番	竹中 由夏	助産外来（予約制）	吉村 康平	助産外来（予約制）	竹中 由夏	火・木
		⑫番	矢本 希夫	当番医	矢本 希夫	当番医	当番医	
		⑬番	谷本 敏	—	竹中 由夏	谷本 敏	吉村 康平	
		午後予約	—	—	—	母親教室（予約制）	—	
眼科	D	⑤番	坂東 肇 （午前）	佐々木 秀一朗 （午前）	佐々木 秀一朗	佐々木 秀一朗 （予約制）	佐々木 秀一朗	月・木
		⑥番	安武 正治郎 （午後）	安武 正治郎 （午後）	—	—	—	
		午後予約	—	—	検査（予約制）	—	—	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C	⑤番	森山 智美	休診	森山 智美	森山 智美	福田 祐也	火・水・金
		⑥番	福田 祐也		—	福田 祐也	【第1・3週】 頭頸部外科外来 横山 道明	
		⑦番	—		—	—	—	
		午後 予約	嚥下外来 福田 祐也		—	第2・4週 補聴器外来・当番医	嚥下外来 福田 祐也	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	—
放射線科	D	2診	当番医	—	当番医	—	—	—
		1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	
		2診	千葉 堯弘	千葉 堯弘	千葉 堯弘	千葉 堯弘	千葉 堯弘	
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	3診	塩谷 健	—	塩谷 健	—	塩谷 健	—
		午後 【予約制】 A⑦番 D⑩番	—	—	第1・2・3・4週 総合（漢方）外来 辰田 仁美 第1週 漢方外来 松本 朋子	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子 第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	第3週 乳腺外来 内藤 古真	
		禁煙外来（1400～1430） 庄野 剛史	—	—	—	禁煙外来（1400～1430） 庄野 剛史 肥満外来（1500～1600） 中 啓吾	—	
専門外来	健診センター【予約制】	—	—	—	—	—	—	—

（注1）

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日 14時～16時です。（予約制）
- 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時～15時です。（予約制）
- 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時～15時となっております。
- 糖尿病教室は、平日月曜～金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号（073-451-3303）までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号（073-451-3181）を通じて各専門外来までお問合せください。
- 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
0. 前月から変更がある部分については網掛けで表示します。

（注2）

セカンドオピニオン外来の詳細については、地域医療連携室（073-451-3186）までお問合せください。

※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。

《診療予約をせずに来院されまると、担当医師が対応できない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》

【予約専用電話】 073-451-3186

お問い合わせは 和歌山ろうさい病院 医事課

TEL.073-451-3181（代）
FAX.073-451-3788（医事課直通）